

# 『一生懸命』幻の新座市議会報告第205弾!

たかむらともや

## ワクチン神話とデマ

厚生労働省は4日、新型コロナワクチン接種後に死亡した事例が7月30日までに919件に上ったことを明らかにしました。

同日開催の新型コロナワクチンの副反応を検討する専門家の合同部会に報告しました。7月21日の前回報告では751件で、わずか9日間で168件増えたことになります。

河野太郎大臣は「医師免許があるにも関わらず、デマを流す人がいます」と発言しましたが、その医師は「厚労省のデータに基づいて、ワクチンは有害無益だ。デマではありません。情報の出どころは厚労省の審議結果報告書です。」と反論しているのです。さあ、どちらが正しいのでしょうか。

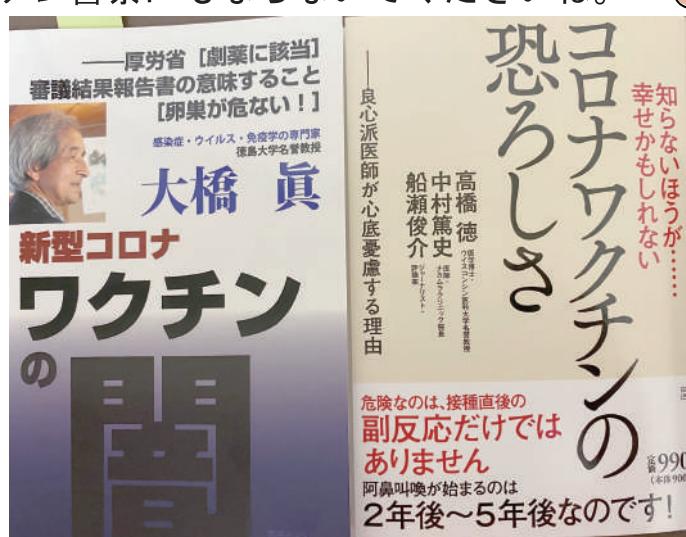
子ども達のことが心配な僕は、コロナワクチンに関する本を沢山読みました。

最初に読んだのが下の2冊です。

ワクチンを信じたい人も信じていない人も、自分の大切な人たちの為に是非読んで欲しい本です。後悔して欲しくないから。

有名人が打つから打つとか、みんなが打つから打つのではなく、自分で情報を仕入れて、自分の頭で判断してから決めて欲しいと思います。悔いのないように・・・。

そして、ワクチンを打つ人も打たない人もお互いを攻撃することなく、尊重し合えたらと思っています。マスク警察にもワクチン警察にもならないでくださいね。



2021年8月15日発行



20年前の娘たちと孫たちです。このおチビちゃん達も大きくなりました。娘たちの中にはおばあちゃんになった子も。

## たかやんのプロフィール



本名たかむらともや  
新宿区立西戸山中、  
石神井高、北海道大  
庭球部卒。中高大とテ  
ニスだけに燃え、勉強  
は全くしなかった。  
大学3年の冬、突然教  
師になることを決意。卒論を出さずに卒業し  
教師になる。ドラゴン桜でいうと、完全に「拡  
散型」のB型。現在は石神3丁目の「たかやん  
塾」で小中高生と共に学び続けている。

好きなものは、テニス、音楽、川掃除、子  
ども達と学ぶこと、大谷翔平、綾瀬はるか…

嫌いなのは、ミャンマーの軍事政権、中国  
共産党、病院も保健所も減らし続け、消費増  
税し、日本経済をダメにしてきた自民党のよ  
うに平気で弱い者いじめをする集団。

写真は六中の1年2組で僕と出会ってしまった  
たばっかりに、テニス部のキャプテンになっ  
てしまった一久です。今、一久は子ども達にテ  
ニスを教えています。父子に見えるでしょう。  
一久は完全に「保全型」ですが…。(笑)

たかやんの連絡先 自宅 042-456-8869 携帯 090-6497-5737

takayanchan@outlook.jp

〒352-0033 新座市石神3-19-32-106

## 栗原公園

夏休みに入りましたが、栗原公園には子ども達が元気に遊ぶ姿はありません。

「ボール遊び禁止(未就学児を除く)」の看板のせいです。大人はゲートボールを楽しんでいるのに、小中学生はキャッチボールもできない公園って、おかしくないですか？

公園は誰のものでしょう。そう、みんなのものです。小中学生が公園から締め出されていい訳がないのです。

近所にこんなに涼しくていい公園があるのに、栗原の子どもたちはそこで遊べないので。石神の子達はスーパー公園でボールを使って、元気に遊んでいます。スーパー公園のフェンスには「このフェンスを超えるボール遊び禁止」という垂れ幕がかかっています。

実にナイスな垂れ幕ですよね……。

栗原公園もバットを振ってのボール遊びはダメよ！でいいのではないでしょうか。

中学生だって、お年寄りがいるところで、本気で野球やサッカーはやりません。子ども達はお年寄りを、お年寄りは子どもたちを思いやる。それが本来の姿だと思うのですが、みなさんはどう思いますか？

子ども達が安心して遊べるようにみなさんも声をあげて欲しい。そう思います。

公園はみんなの為にあるのです。子ども達からお年寄りまでみんなが笑顔になれる、そんな公園を市内に増やしていきたいのです。議会で何度も取り上げていきますので、みなさんも子ども達を応援してください。



## 教師のバトン

ツイッター「#教師のバトン」を見て驚きました。今を生きる小中学校の先生たちの本音がそこには書いてありました。

朝4時起きして、夜10時過ぎないと家に帰ってこられない先生。

部活に時間を奪われ、授業の準備が出来ないと悩む先生。自分の子ども達は勿論、クラスの子どもたちとも一緒にいる時間がないと悩む先生達の姿がそこにはありました。

そんな中、「私は夏休みの宿題を廃止しました」という元校長先生の投書がありました。

素敵な校長先生だと思いました。それは子ども達を大量の課題から解放するだけではなく、先生達の膨大な仕事量を削減することに繋がるからです。

僕自身も21年間理科の教師として宿題を出す側でしたが、出した宿題は「自然の中で遊べ」だけでした。

子ども達は「やらされる勉強」では伸びないことを知っていたから……。

それどころか、大量の宿題は子ども達を勉強嫌いにしてしまう危険性があります。

世の中が「多様性」を認めようとする時代、子ども達に一律の大量の課題(宿題)を出して、それを評価するという手法は時代遅れですし、学力を上げる効果は全くありません。

夏休みは子ども達がやりたいことをやらせたいものです。それが英語でも読書でもギターでもYouTubeでも何でもいいから……。

下の写真は五中時代の大好きな仲間達です。山口常義、木下保則、甲神嵐、宮下博子、佐倉田清、そして可愛い後輩達です。

